

## 「安心・活力・発展」の大分県づくりを支える代表的な道路事業(投資必要額)

本資料では、整備中の道路事業や市町村を通じ県民の方々から強く要望を受けている主要な道路事業を今後10年間で計画的に整備するために必要な投資額※1をまとめました。今後概ね10年間で、現在の予算規模(直近5年の県及び市町村の予算額)と比較し、毎年、約1.5倍の予算が必要と試算しました。

都市部での渋滞対策や観光や産業活動を支援する道路の整備、近年頻発する大規模災害に備える防災・減災対策の強化、老朽化対策による長寿命化の実現等、道路整備の必要性は依然として高い状況にあります。

今後も「安心・活力・発展」の大分県づくりを支える道路事業を着実に進めるためには、社会資本整備予算の総額確保と地方への重点配分が必要であり、予算の獲得と効率的な活用に努めていきます。

	大分県事業	市町村事業	合計
今後10年間で計画的に整備するために必要な投資額	約 5,640億円	約 1,360億円	約 7,000億円

### ■大分県事業

「おおいたの道構想2015」における主要施策の実施方針	10年間の必要な投資額(単位:百万円)		
	前期(H30~H34)	後期(H35~H39)	合計(10年間分)
<b>1. 生活の安全・安心を高める道路整備</b>	125,000	120,000	245,000
(1) 防災・減災対策 ➡ 橋梁の耐震化、のり面対策、道の駅の機能強化	65,000	64,000	129,000
(2) 交通安全対策 ➡ 事故危険箇所等の対策、通学路等の安全対策	18,000	16,000	34,000
(3) 老朽化対策 ➡ 長寿命化計画に基づく点検、対策の実施	33,000	31,000	64,000
(4) 適正・効率的な維持管理 ➡ 道路パトロール、維持管理の効率化(道路照明LED化等)	9,000	9,000	18,000
<b>2. まちの魅力を高め活力のある地域づくりを支える道路整備</b>	42,000	40,000	82,000
(1) 渋滞対策 ➡ ハード対策、ソフト対策	14,000	14,000	28,000
(2) 快適な道路空間の形成 ➡ 都市計画道路の整備、まちの顔となる道路の再整備、無電柱化の推進、自転車走行空間の整備、バリアフリー化	19,000	18,000	37,000
(3) ツーリズム支援 ➡ 主要な観光地を結ぶ道路整備、道路案内や情報発信の向上、観光の対象としての取組、スポーツツーリズム支援	9,000	8,000	17,000
<b>3. 県土の発展を支える道路整備</b>	104,000	133,000	237,000
(1) 広域ネットワークの整備 ➡ 地域高規格道路の整備	26,000	43,000	69,000
(2) 地域ネットワークの整備 ➡ 国道・県道ネットワークの整備	70,000	84,000	154,000
(3) 小規模集落対策 ➡ 「ネットワーク・コミュニティ」構築の支援	8,000	6,000	14,000
<b>大分県事業 合計</b>	<b>271,000</b>	<b>293,000</b>	<b>564,000</b>

※1 多額の費用を要する改良事業や橋梁等の補修工事には、国の予算補助が不可欠です。本資料は本県が考える必要な投資額を整理しましたが、実際に配分される予算額を担保するものではありません。

■市町村事業

市町村名	代表的な路線名・工区名	10年間の必要な投資額 (単位:百万円)
大分市	猪野皆春線 [都]片島松岡線 皆春工区 2工区	56,500
別府市	鉄道南北1号線 [都]山田関の江線 石垣工区 亀川工区	8,000
中津市	下池永西大新田線 [都]宮永角木線 下池永・大新田工区 北部工区	14,200
日田市	平和通り線 [都]友田徳瀬線 渡里工区 新治工区	6,200
佐伯市	前方大野線 [都]馬場常盤線 大野工区	6,000
臼杵市	勘場正願線 武山工区	2,400
津久見市	岩屋線 岩屋工区	2,800
竹田市	川床上畑線 川床工区	3,800
豊後高田市	入津原中之島線 池田工区	2,400
杵築市	市駅錦江橋線 錦江橋工区	4,700
宇佐市	柳ヶ浦中央線 江須賀工区	4,100
豊後大野市	牛首線 大原工区	6,400
由布市	西鶴天神山線 大龍工区	8,100
国東市	安国寺岩屋線 安国寺工区	2,600
姫島村	大海稻積線 タルミ工区	100
日出町	陣ノ辻線 [都]須崎新田線 藤原工区 豊岡1工区	2,700
九重町	川西木納水線 川西工区	1,200
玖珠町	長芻線 帆足工区	3,800
18市町村事業 合計		136,000

■(参考)直轄の主な事業※2

代表的な路線名・工区名		全体事業費 (単位:百万円)	整備方針※3	開通区間※3
改築事業	中九州横断道路(国道57号) 大野竹田道路	44,600	H31.1開通	朝地IC～竹田IC
	中九州横断道路(国道57号) 竹田～阿蘇間	約55,000～ 約75,000	事業着手	
	中津日田道路(国道212号) 三光本耶馬溪道路	46,600	事業促進 (H30年度開通)	(中津IC～田口IC)
	国道10号 豊前拡幅	6,000	事業促進	
	国道10号 高江拡幅	8,500	事業促進	
	国道210号 横瀬拡幅	4,600	事業促進	
	国道210号 天瀬改良	7,500	H30.12開通	天瀬町赤石
交通安全事業	国道10号 岩崎交差点改良 畑中交差点改良 宮原歩道整備 野津野口歩道整備 小田歩道整備 弥生江良自歩道整備	-	整備促進	
	国道210号 広瀬交差点改良 右田歩道整備 野上歩道整備 庄内登坂車線整備 挾間歩道整備 玉沢交差点改良	-	整備促進	

※2 記載しているものはH30.12月時点で公表されているもの

※3 ( )の場合は、部分開通するもの

※ 大分県では、大分県が事業主体で行う道路事業において、今後5年以内に開通が可能な箇所を「豊ちゃく」として公表しています。  
 (豊ちゃくHP URL: <http://www.pref.oita.jp/soshiki/17140/toyotyaku.html>)